

〔江戸東京野菜生産流通拡大事業（受託研究）〕
「**拝島ネギ**」の春まき秋冬どり栽培における特性把握
～11月上旬および12月上旬収穫について～
沼尻勝人・海保富士男・遠藤拓弥・徳田真帆
(園芸技術科)

【要約】11月および12月上旬収穫の「**拝島ネギ**」は、F₁品種「夏扇4号、龍まさり」より草丈が長く、葉鞘長が短い傾向がある。緑葉を含めた収量は、比較品種の約8割で、太さの揃いも劣るため、肥培管理や栽植密度などにより改善していく必要がある。

【目的】

「**拝島ネギ**」は、葉が軟らかく緑葉まで利用できる根深ネギであり、甘みも強く食味が良いことから普及拡大が見込まれる。しかしながら、栽培の基本特性や既存品種との差異は明らかでない。そこで、本試験では栽培の基礎データを得るため、春まき秋冬どりの作型において、都内の主要品種と比較栽培し、「**拝島ネギ**」の特性を把握する。

【方法】

2020年3月16日に「**拝島ネギ**」および対照品種としてF₁品種「夏扇4号、龍まさり」をチェーンポットCP303に播種し、ハウス内で育苗した。出芽後、連結ポットあたりの本数を2および3本が交互になるように間引きした。定植は5月13日にひっぱりくんで行い、畝間100cm、株間5cm/ポット(50000株/10a)で栽培した。基肥はN-P₂O₅-K₂Oを成分量で6-20-6kg/10a施用し、適時追肥および培土し、10月22日の止め土までで計4回実施した。追肥はN-P₂O₅-K₂Oを成分量で4-0-4kg/10aとした。収穫調査は、1.5m分とし、11月10日(定植181日後)および12月1日(同201日後)に行った。

【成果の概要】

- 11月10日収穫:「**拝島ネギ**」の草丈は、やや長めだが対照品種並みであった(表1)。ただし、葉鞘長がやや短いため、相対的に緑葉部分は長かった。草丈や葉鞘長と同様に葉鞘径のバラツキも大きいため、外観上のほか調整重の揃いも劣った。収量は、対照品種の約75%であった。規格別でみると、「**拝島ネギ**」は2Lの太いものからS以下の細かい規格までバラツキが大きかったが、対照品種は、Lを中心に揃っていた(図1)。
- 12月1日収穫:対照品種の草丈は、11月10日とほとんど変わらなかったが、「**拝島ネギ**」では伸長がみられた(表2)。いずれの品種も葉鞘径や調整重の増加がみられたが、「**拝島ネギ**」の収量は対照品種の約80%であった。規格別では、11月10日よりも太くなるので全体的に規格は上がるが、バラツキの傾向は変わらなかった(図2)。
- 葉鞘部の硬さ(最大加圧重)は、「**拝島ネギ**」が有意に小さかった(表1)。質的形質では、「**拝島ネギ**」は葉が折れやすく、ろう質(ワックス)が少なく、葉色が淡く、締まりが劣るといった特徴が認められた(表3)。

【残された課題・成果の活用・留意点】

- 「**拝島ネギ**」は、草丈が伸びやすい傾向があるので、適切な追肥量や培土量などの影響や適切な栽植密度を明らかにする必要がある。
- 1月以降の特性把握(抽苔まで)を引き続き行う。

表1 春まき栽培における栞島ネギの生育および収量(11月10日収穫)

品種	草丈		葉鞘長		分岐部長 ^a	葉鞘径 ^b		調整重 ^c		収量 ^d	硬さ ^e
	(cm)	(cv)	(cm)	(cv)		(mm)	(cv)	(g/本)	(cv)		
栞島ネギ	107a	0.16	35b	0.11	4.1b	15.9a	0.30	114c	0.47	4.5	0.48b
夏扇4号	102b	0.07	38a	0.09	5.3a	15.9a	0.13	177a	0.22	6.2	0.60a
龍まさり	108a	0.04	39a	0.05	4.1b	16.3a	0.13	151b	0.23	5.9	0.62a

a) 最上位分岐部から葉鞘長を除いた長さ。b) 葉鞘部(軟白部)の中心部分。c) いずれの品種も緑葉を3枚に調整。d) 調整重×調査面積あたりの収穫可能本数から算出した。e) 果実硬度計KM-1で葉鞘部の中心部分の最大加圧重を測定した。同一列内の異なる英文字間にはTukey-Kramer法により5%水準で有意差がある(n=58-65)。

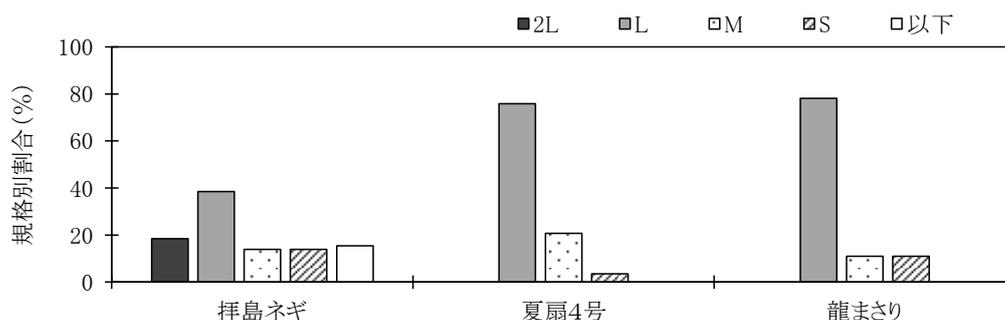


図1 栞島ネギの規格別収穫割合

注) 2020年11月10日収穫。規格は葉鞘(軟白部)の中心径を3L:25mm以上, 2L:20mm以上25mm未満, L:15mm以上20mm未満, M:13mm以上15mm未満, S:10mm以上13mm未満, 以下:10mm未満とした。

表2 春まき栽培における栞島ネギの生育および収量(12月1日収穫)

品種	草丈		葉鞘長		分岐部長	葉鞘径		調整重		収量	硬さ
	(cm)	(cv)	(cm)	(cv)		(mm)	(cv)	(g)	(cv)		
栞島ネギ	116a	0.08	35a	0.08	7.0ab	18.7a	0.30	151a	0.50	6.0	0.63b
夏扇4号	103b	0.07	40b	0.09	7.6a	19.3a	0.13	190b	0.26	7.2	0.68a
龍まさり	106b	0.04	40b	0.07	6.4b	19.3a	0.13	173b	0.21	7.1	0.67a

注) 同一列内の異なる英文字間にはTukey-Kramer法により5%水準で有意差がある(n=62-68)。

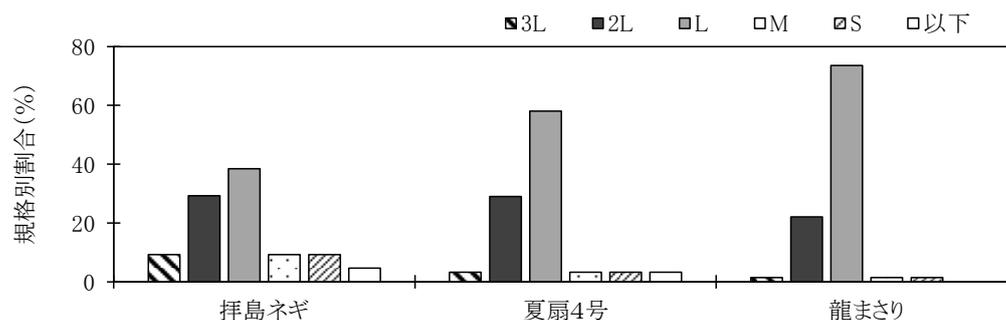


図2 栞島ネギの規格別収穫割合

注) 2020年12月1日収穫。規格は葉鞘(軟白部)の中心径を3L:25mm以上, 2L:20mm以上25mm未満, L:15mm以上20mm未満, M:13mm以上15mm未満, S:10mm以上13mm未満, 以下:10mm未満とした。

表3 春まき栽培における栞島ネギの質的形質

品種	葉折れ (多~少)	葉先枯れ (多~少)	ろう質 (多~少)	葉の緑色 (濃~淡)	開張性 (開~立)	分岐部の しまり (縮~緩)	葉鞘中央部の しまり (縮~緩)
栞島ネギ	多	中	少	淡	やや開	緩	緩
夏扇4号	中	中	中	中	中	中	中
龍まさり	中	やや多	やや少	中	中	やや緩	やや緩

注) 夏扇4号を基準に評価した。